

OSAKA みらい 市政報告

発行：OSAKA みらい大阪市議員団
〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20 大阪役所内 ☎ 06-6208-8650
問い合わせ先：武直樹市民協働事務所
〒544-0015 大阪市生野区巽南 1-12-10 ☎ 06-6753-6714
武直樹公式ホームページ：<http://www.take-naoki.com/>
ブログ：<http://ichigotochie.blog.eonet.jp/> Twitter：@takenaoki
Facebook 始めました！ <http://www.facebook.com/naoki.take.1>

大阪市議員 武直樹



プロフィール

- 1972年 12月26日生まれ。
- 1999年 同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。大阪市生野区社会福祉協議会に就職。7年間、生野区のまちづくりに携わる。
- 2006年 大阪市東住吉区社会福祉協議会 地域包括支援センター社会福祉士。
- 2009年 NPO法人いくの市民活動支援センターを仲間とたちあげ(2009.4)社会福祉士・介護支援専門員として、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。
- 2011年 大阪市議員選挙(生野区)6,737票のご支持を受け当選。

武直樹とわくわくいくのネットワーク
☆☆☆☆☆☆

武なおきと一緒に
生野区のまちづくりに参加しませんか？

会費1口：1,000円 郵便振替 00970-7-137248



平成25年度の予算審査を行いました。詳細は裏面！

武直樹がずっと応援してきました「地域共生型福祉サービス」について3月市会本会議で、橋下市長が「やります」と明言！！

昨年度、生野区では、内閣府の「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の指定を受け、地域共生ケア生野推進委員会(23団体、5個人)を組織し法律の縦割りを越える支援ネットワーク構築をめざして活動を積みあげてきました。

3月6日の大阪市会本会議での代表質問答弁で、橋下市長から「地域共生型サービスの大阪版を実施します」との返答をもらいました。共生型介護の取り組みは、NHKのクローズアップ現代にも取り上げられ、その理念は、介護現場には広く浸透してきています。厚生労働省でも、平成25年1月、全国の事例集をまとめ、共生型介護の考え方や概念を広める取り組みを進めています。

しかしながら、高齢者は、介護保険法、障害者は、自立支援法、子どもは児童福祉法と、法律が縦割りになっていて、既に、全国で規制が緩和されているにもかかわらず、市内では、それぞれのサービスを同じ場所で同時に利用するには、まだ、到っていない現状がありました。今回の答弁を受け前に進んでいくこととなります。

宅幼老所(地域共生型サービス)の推進について

【宅幼老所(地域共生型サービス)】とは

- ・小規模で家庭的な雰囲気の中、高齢者、障害者や子どもなどに対して、1人ひとりの生活リズムに合わせて柔軟なサービスを行う取組。
- ・通い(デイサービス)のみから、泊まり(ショートステイ)や訪問(ホームヘルプ)、住まい(グループホーム)等の提供も行うなどサービス形態は地域のニーズに応じて様々に設定。

【事業の理念】

「誰でもが地域でともに暮らす」(共生)を重視 選択の自由

- ・家族のように過ごせる第二の我が家
- ・近所のように遊びに行く感覚
- ・いつでも誰でも受け入れ可能

【事業の実施形態】

小規模：例えば、利用定員10~20人程度
多機能：高齢者、障害者(児)、子どもなどを対象
地域密着：NPO等多様な主体による参画(住民にとって身近な主体の参入)

宅幼老所(地域共生型サービス)の効用

①高齢者にとって

子どもと触れ合うこと、で自分の役割を見つけ、意欲が高まることによって日常生活の改善や会話の促進。

②児童にとって

お年寄りや障害者など他人への思いやりや優しさを身につける成育面の効果

③地域にとって

地域住民が持ちかけてくる様々な相談に応じる、地域住民の福祉拠点としての効果

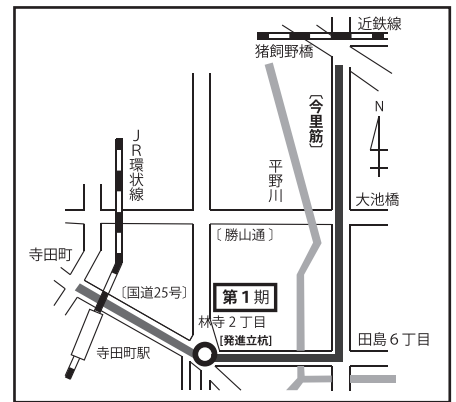
出典：厚生労働省「宅幼老所の取組」平成25年1月P.2より

25年度予算を審査する予算委員会が3月7日～28日まで開かれました。 武直樹は、建設港湾委員会副委員長として、2時間質疑しました。

○主要な質問項目(生野区に関する項目)

ゲリラ豪雨による浸水対策について新今里～寺田町下水道幹線の整備が進んでいます！！

平成 23 年 8 月のゲリラ豪雨では、生野区でも 663 戸の浸水被害がありました。市内の東部地域は、雨に弱い地域と感じており、大規模な浸水対策が急がれます。新今里～寺田町の下水道幹線の立坑（たての穴）が完了しました、平成 28 年度の使用開始を目指してトンネル掘削が今年の秋から始まります。地域の皆さんにも説明をしっかりと行い理解を得ながら確実に進めていくよう要望しました。



疎開道路の発進立坑(たての穴)が完成

梅田新歩道橋のネーミングライツ

ROHTO よろこビックリ 梅田新歩道橋 になりました！



よろこビックリ梅田新歩道橋

大阪市には、125 の歩道橋があります。第 1 次募集では、50 橋のネーミングライツの募集を行いました。応募は 0 件でした。昨年 7 月の補正予算の委員会で、公募条件に、「交差点にある歩道橋も対象にすること」、「ロゴマーク等の標示も可能とすること」を要望し、それを盛り込んで第 2 次募集を行いました。その結果、地元、生野区のロート製薬さんの応募があり、610 万円で命名権を落札しました。うれしいです。それでも 1 橋だけでしたので、今後は、地域の実情をよく知っている区で自主財源確保という側面からも、積極的に取り組んでいただけるよう要望しました。

○その他の質問項目（インターネットで録画映像がご覧いただけます）

- ・放置自転車対策について
- ・港湾施設提供事業について
- ・夢洲コンテナターミナルについて
- ・御堂筋の活性化について
- ・なにわの海の時空館について
- ・引船事業について
- ・防潮施設の閉鎖体制について
- ・道頓堀川の賑わい創出について
- ・下水道事業の上下分離について
- ・下水道の創エネルギーについて



委員長分の割当時間も質問

真に支援が必要な高齢者・障害者（児）の等の支援として災害時における要援護者支援「きずなネット」の構築事業に 5,111 千円の予算!! (生野区)



被災地に学ぶ講座の様子

災害時における要援護者支援、福祉避難所開設についてはこの間ずっと要望してまいりました。実施していくためには、地域、社会福祉施設、事業所との連携が大事です。こうしたことを再確認するために、「東日本大震災における被災地と要援護被災者の現実とこれからの展望」と題して NPO 法人奏海の杜(かなみのもり：宮城県)から菊池さん太齋にきていただき講座を 3 月 2 日(土)に開催しました。60 人もの参加があり、今後の生野での活動につながる講座となりました。生野区では「きずなネット」構築に向けて、説明会・勉強会・ワークショップが進みます。中身があるものにするためにも、是非みなさんも参画してください。

OSAKAみらい 新幹事決定しました!!

幹事長：奥野 正美
副幹事長：小林 道弘
政調会長：松崎 とおる
政調副会長：森山 禎久
幹事：武 直樹

第11回 区民スリーアイズ大会 準優勝!!

以前から参加のお誘いを受けていましたがやっと参加できました。なんと 88 チームの参加がある中で準優勝。勝つたびに票が減ると言われました。ここまできたら優勝したかったのですが、決勝戦は、武のボールにより相手に得点が入り負けてしまいました。優勝チームは区民だよりに掲載されたので、くやしかったです!!



区長といくみんと記念撮影